

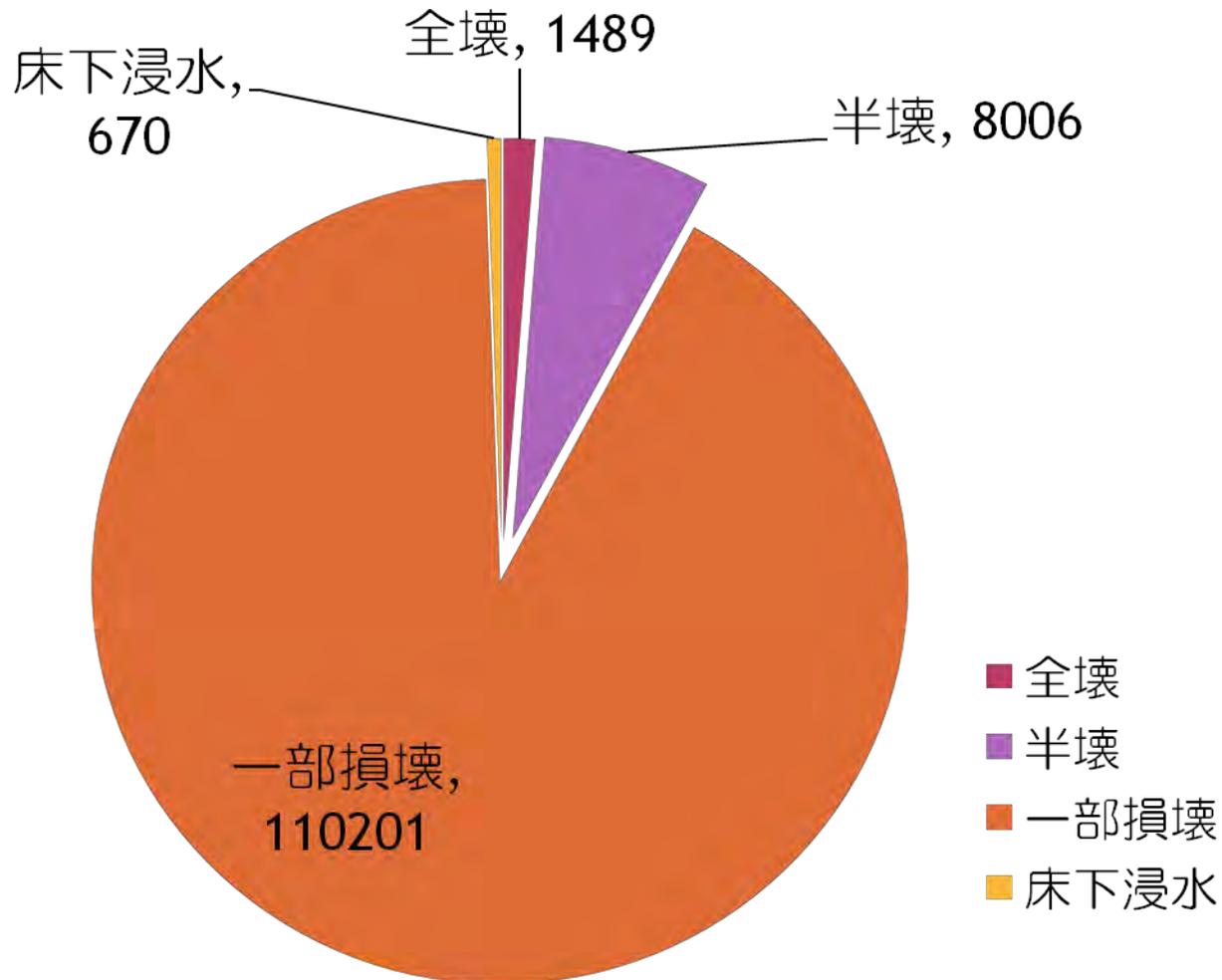
東日本大震災の対応と 今後の課題

茨城県訪問看護連絡協議会 幹事

五十嵐 いつ子

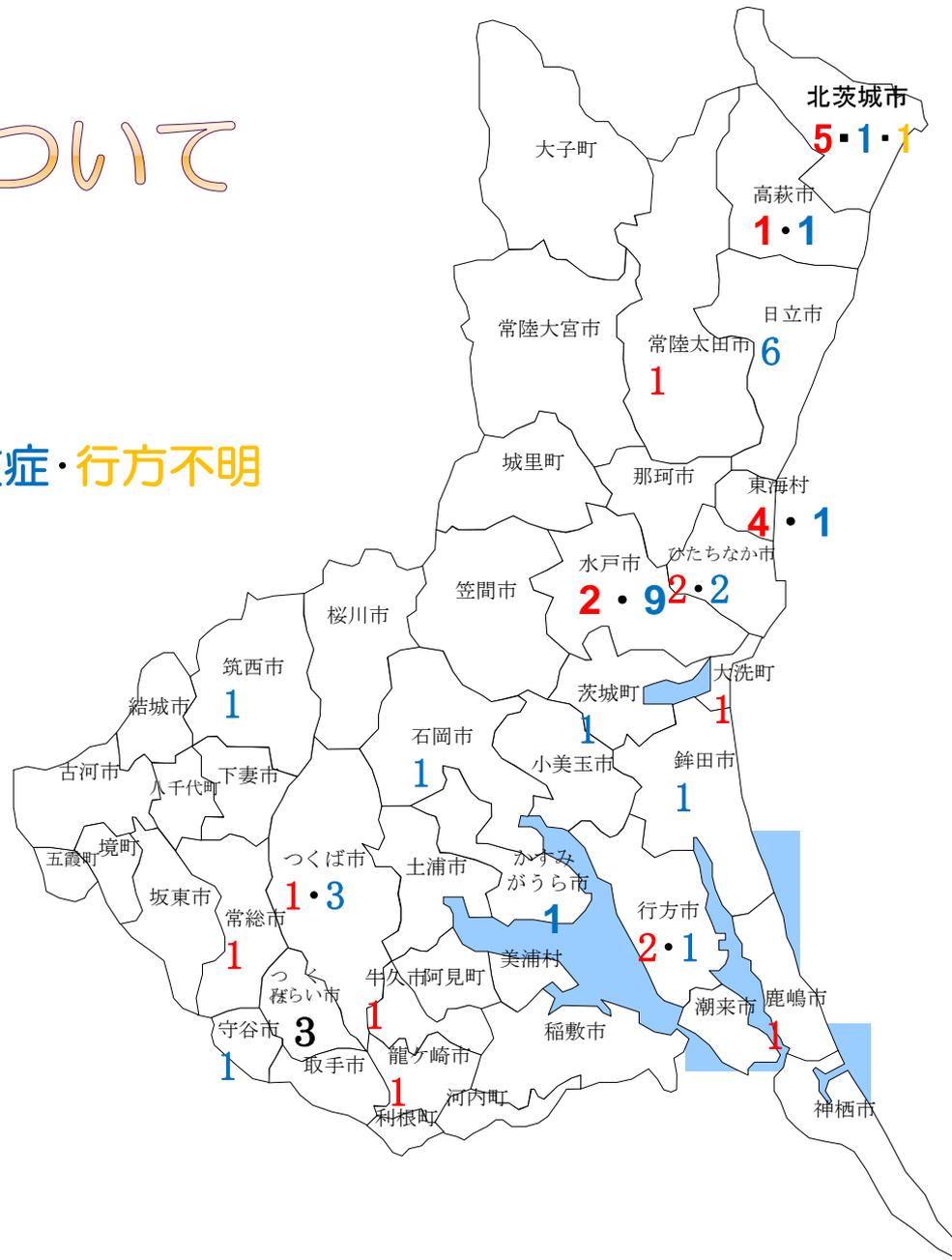
茨城県の住宅被害について

H23.5.13県庁調査



茨城県の 人的被害について

死亡・重症・行方不明



避難状況

○ 避難者：321人

うち 8人：茨城県民：避難所1市1箇所

うち313人：福島県民：県 1箇所

市町村 4箇所

その他 19箇所

避難者ピーク 3月12日8時：77,285人

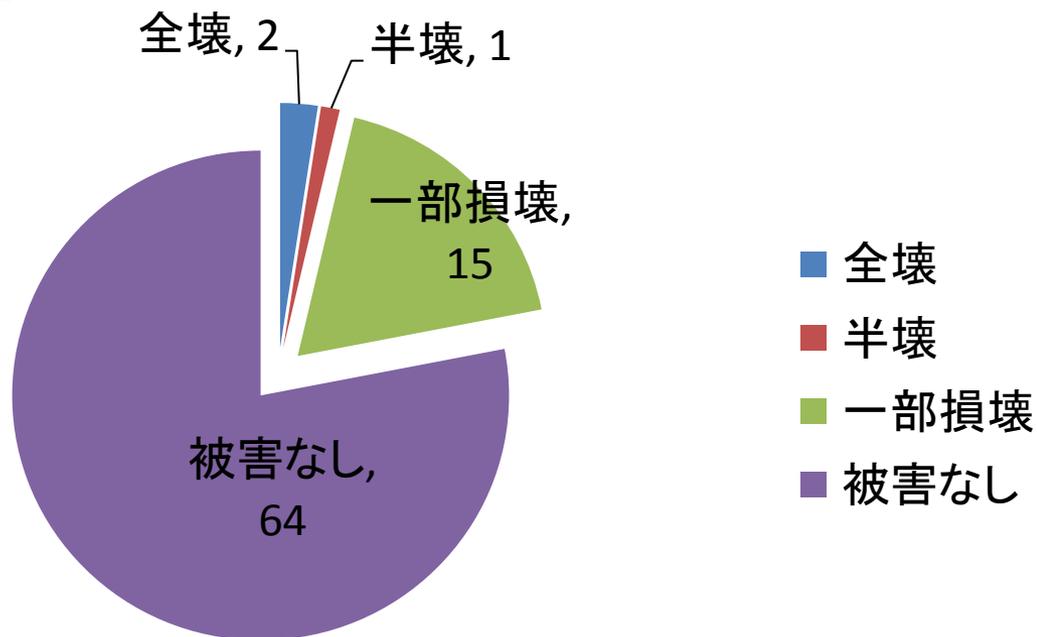
福島県からの避難者ピーク：

3月21日10時：1,865人

訪問看護ステーションの被害 I

アンケートの回答のあった82ステーションの内訳

建物被害



訪問看護ステーションの被害Ⅱ

建物被災状況（82施設中）

- 全壊 2
- 半壊 1
- 一部損壊 15

訪問看護サービス状況

- 制限あり 14
- 休止中 0
- 通常どおり 63

訪問看護師等の被災状況

- あり 17
- なし 45

Dブロック 県北地区

16事業所

建物

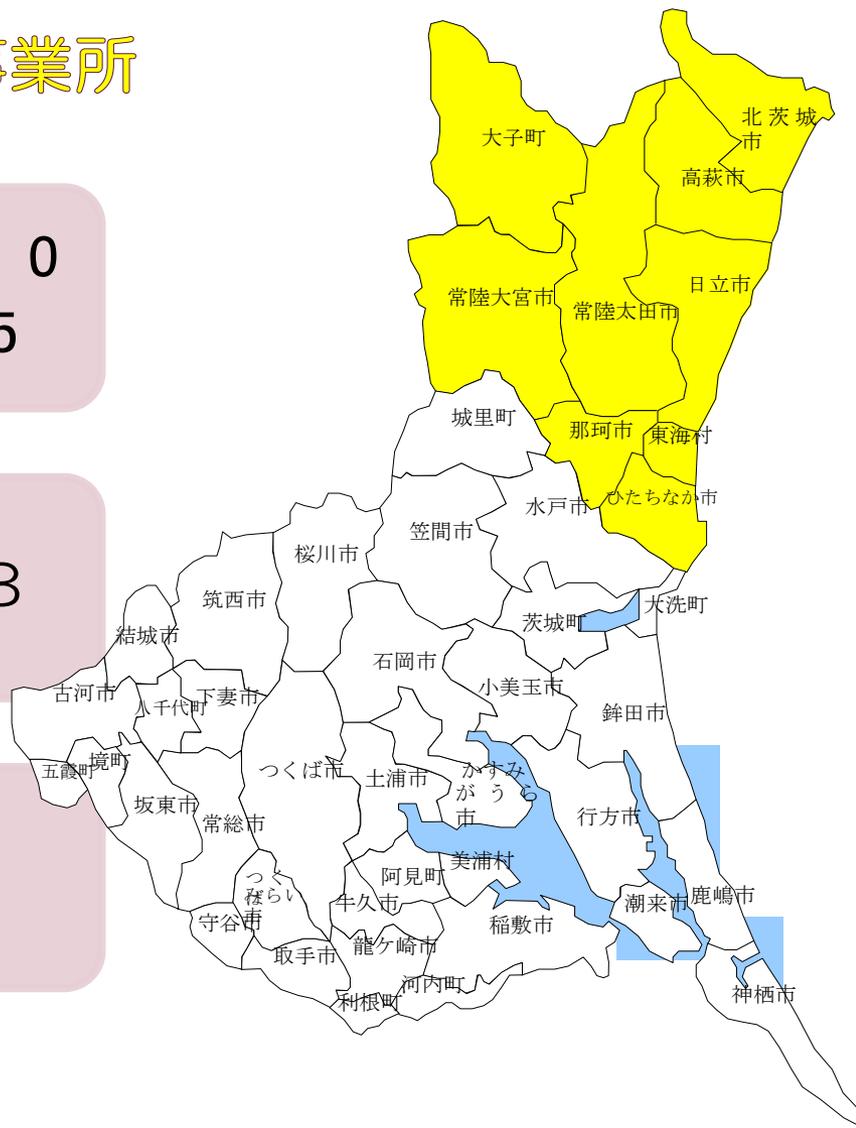
- 全壊・半壊 0
- 一部損壊 5

訪問看護

- 制限あり 3

従業者被害

- あり 3



Cブロック 県央地区11事業所

建物

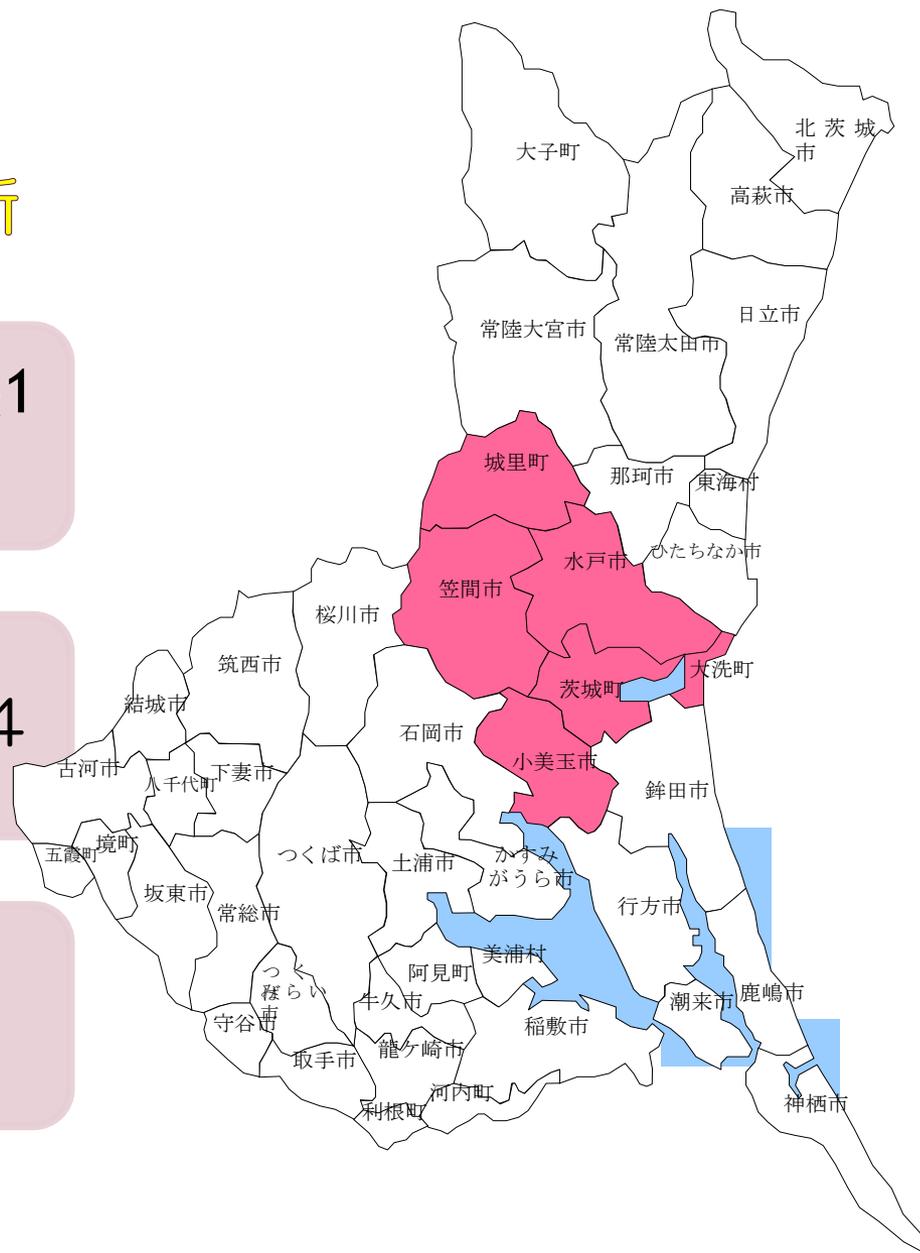
- 全壊1・半壊1
- 一部損壊 3

訪問看護

- 制限あり 4

従業者被害

- あり 4



Aブロック 県南地区

34事業所

建物

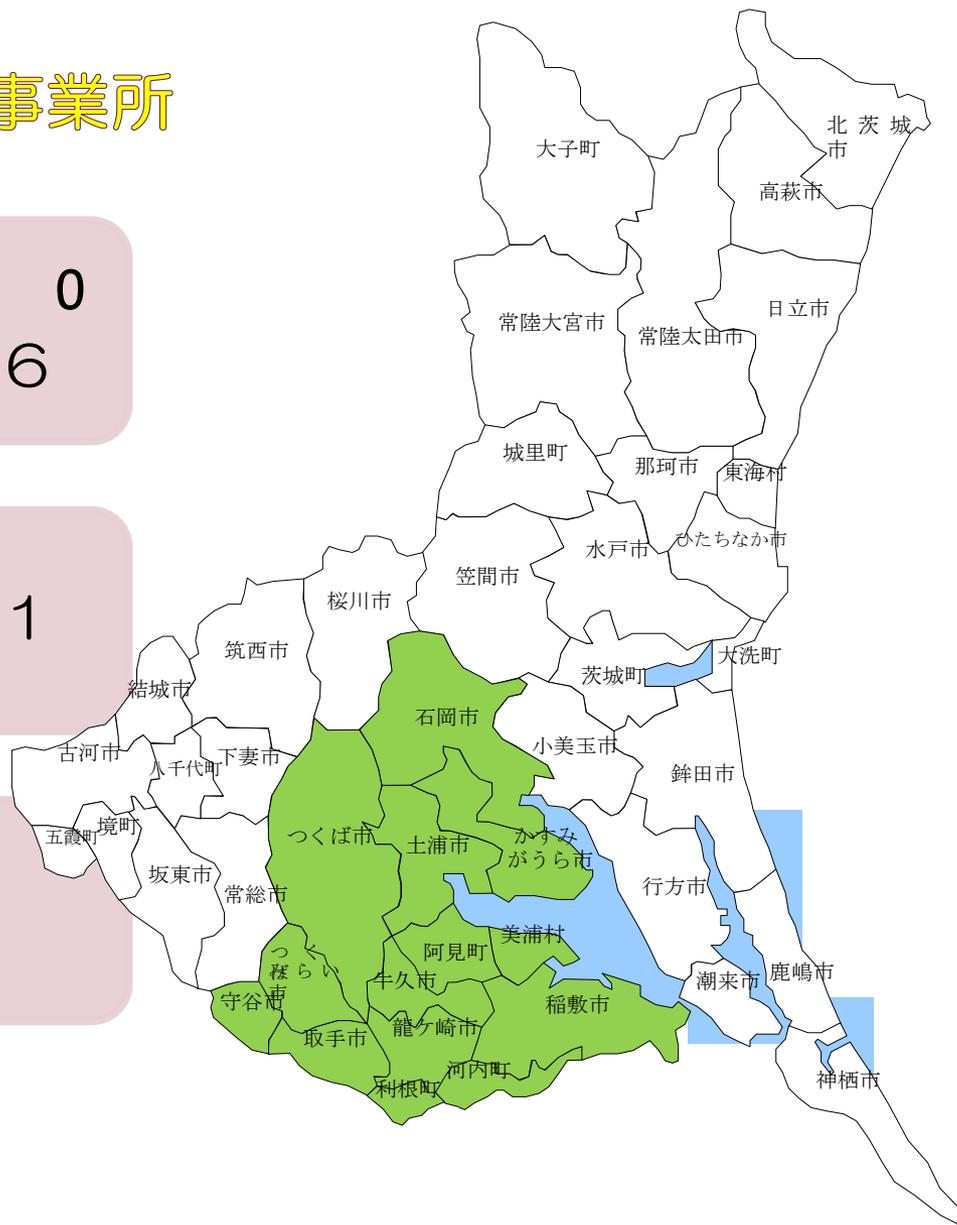
- 全壊・半壊 0
- 一部損壊 6

訪問看護

- 制限あり 1

従業者被害

- あり 3



Eブロック 鹿行地区

10事業所

建物

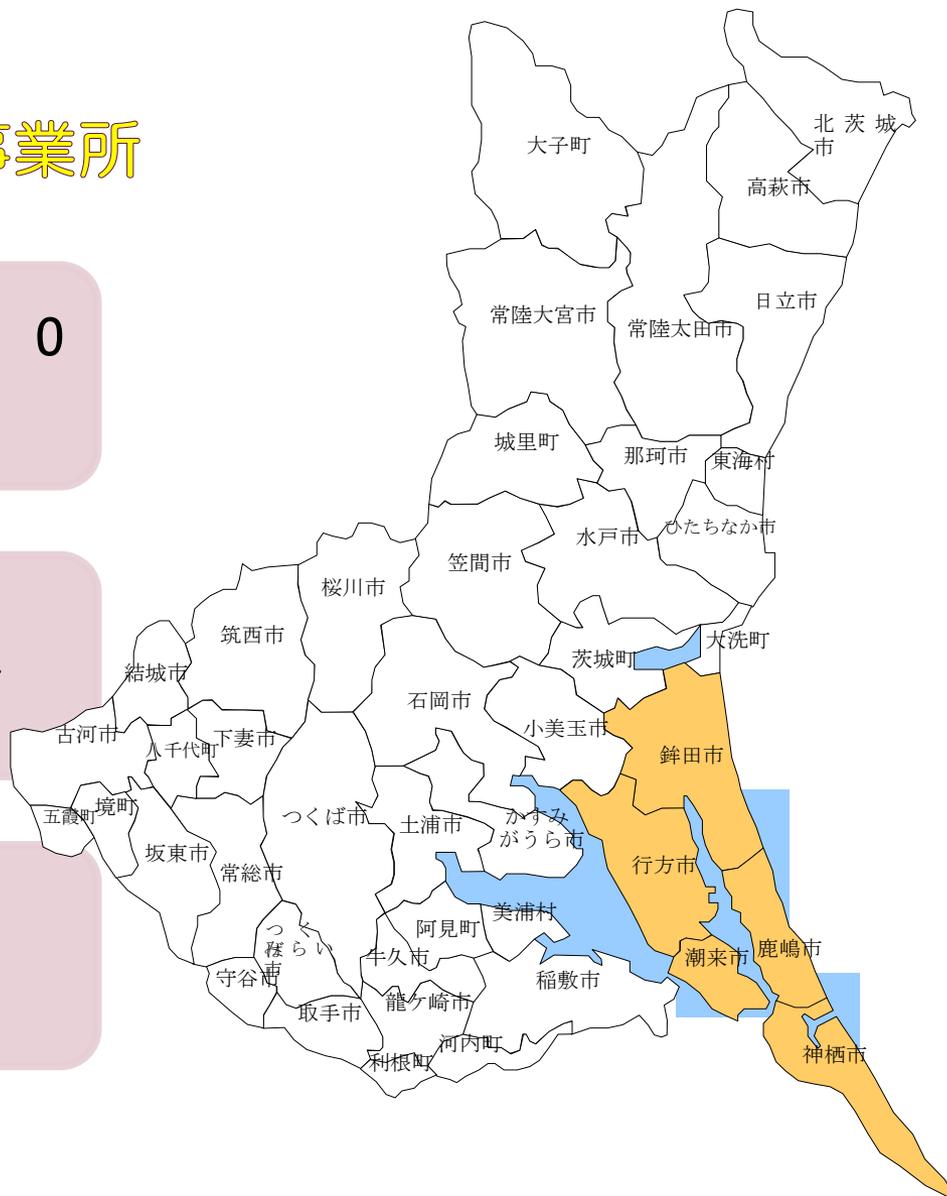
- 全壊1・半壊 0
- 一部損壊 1

訪問看護

- 制限あり 4

従業者被害

- あり 5



今後の課題 I

- 災害時マニュアルの見直し
 - ・ マニュアルを参考に自分のステーションに合うように作り直す
 - ・ スタッフ全員で周知確認しあう

今後の課題 Ⅱ

○ ガソリン不足の問題

- ・ いつでも発進できるような日頃の備え
ガソリンの確保
- ・ 緊急車両としての優先して入れてくれる
スタンドの確保とシステムづくり
茨城県訪問看護連絡協議会の課題

今後の課題 Ⅲ

- 医療依存度の高い利用者への対応
 - ・ 主治医や医療機関との連絡体制
（緊急入院先の確保）
 - ・ 必要な医療物品の確保
酸素ボンベや手動吸引器・バッテリー等

今後の課題 IV

- 緊急時の利用者さんへの安否確認
 - ・ 事前の安否確認の方法を話し合っておく
 - ・ 独居の方等の安否確認は他事業所と連携し、重複の口スを避けたり抜けのないようにする
 - ・ 地域の民生委員や区長、市町村関係者等との事前の話し合いをして抜けのないようにする

今後の課題 V

- 風評被害

農業

酪農

漁業

介護者の苦勞・心勞へのねぎらい

私たちにできることは何か